



障害者芸術文化活動普及支援事業

創造する力をつくる SOUPの研修

参加者募集
参加費無料

主催：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

※この事業は平成29年度障害者芸術文化活動普及支援事業「厚生労働省」の一環で行っています。

創造する力をつくるSOUPの研修

2017年度 スケジュール

みんなでつくろう!!

○舞台美術をつくろう

SOUPでは、半年間に渡って宮城県内を巡回して開催したダンスワークショップを通してひとつの舞台作品を創作し、2018年2月に舞台公演を行います。そこで、一緒に舞台美術を制作する人を募集しています。絵を描くのが好きな人、ものをつくるのが好きな人、描いてみたい、つくってみたい、そんな思いがある人のご参加をお待ちしております。

日時：①2017年12月16日(土)13:30～16:30
②2018年1月27日(土) 13:30～16:30

会場：せんだい演劇工房10-BOX(仙台市若林区卸町2-12-9)
①box-5、②box-2

対象者：舞台美術に興味のある人、障害のある人や家族、福祉施設スタッフ、アーティスト、学生 など

定員：15名



ファシリテータ

佐竹真紀子 (美術作家、一般社団法人NOOK)

1991年宮城県生まれ、在住。武蔵野美術大学大学院修了。絵やオブジェをつくる美術作家として活動している。仙台の沿岸地域にバス停のオブジェを設置する「偽バス停」プロジェクトを現在継続中。



ファシリテータ

瀬尾夏美 (画家、作家、一般社団法人NOOK)

土地の人びとのことばと風景の記録を考えながら、絵や文章をつくっている。陸前高田市を拠点とした制作を経て、2015年仙台市で、土地との協同を通じた記録活動を行う一般社団法人NOOKを立ち上げる。

身体表現ファシリテータ養成ワークショップ／体験&ディスカッション編

障害のある人を対象にしたワークショップの現場に参加して一緒に体験し、身体表現を生かした障害のある人とのコミュニケーションや表現活動のファシリテーションについてなど、感じたことを話合います。

○こころの動きをつかまえる・身体の可能性をみつけるじかん

つどいの家・コペルの利用者対象のワークショップに参加し一緒に体験します。事前にワークショップについてのねらいや手法についての講座があります。

ワークショップの内容

こころが動いたとき、からだから表現が生まれます。表現は1人1人違って、大きな動きもあれば、見逃してしまいそうな小さい動きもあります。いろいろな身体から生まれる表現を見つけて、ダンスをつくりまわします。みんなでおいろう、楽しいを見つけてみましょう!このワークショップでは、ケアする人がいろいろな表現を感じて見つけて、みんなで表現することを楽しむ方法を学びます。

日時：2018年3月5日(月) 16:00～17:30 講座
2018年3月6日(火) 13:30～15:00 ワークショップ
15:00～16:00 振り返りディスカッション

会場：社会福祉法人つどいの家 つどいの家・コペル
(仙台市若林区上飯田1-17-58)

対象者：身体表現に関心のある人、アーティスト、教員、福祉施設スタッフ、学生 など

定員：5名



ファシリテータ

川熊 美貴

パフォーマー、演出家。大学卒業後、高校の美術講師、児童の絵画教室アシスタント、児童館勤務を経て、演劇や美術を取り入れたアートプログラム作りをしている。2011年から、幼児親子が観て参加する舞台の創作、上演を行う「おはようシアター」を立ち上げ、幼稚園や保育所、児童館などでの上演は年間約60公演に上る。障害者就労支援施設にて、身体表現の時間や、美術の時間の講師多数。

つどいの家・コペル

生活介護事業、特例生活介護事業を行い、主に重症心身障害、重複障害、知的障害の方が通所しています。「はたらく」「社会参加」「地域交流」をキーワードに医療的ケアの必要な人も積極的に地域、社会に働きかけていくよう支援している事業所です。

○からだをじっくり味わってみる

石巻地域若者サポートステーションの利用者対象のワークショップに参加し、一緒に体験します。その後、どんなことが起きたのか、どんなことを大切にしているかなど、ファシリテータと参加者で振り返りを行います。

ワークショップの内容

普段なにげなく付き合っている自分のからだをワークを通してじっくり味わい、見つめ直してみます。改めて自分のからだの角度を変えて眺めてみたり、しつこく触ったり、はたまた何にもしなかったりすると、からだのどんな声が聞こえてくるでしょう?日頃当たり前のようにふれている自分のからだと出会い直していくことで、喜び楽しむからだを発見し、そんな自分のからだを踊ってみましょう。

日時：2018年3月12日(月) 13:30～15:00 ワークショップ
15:00～16:00 振り返りディスカッション

会場：石巻レインボーハウス(石巻市中里2-2-3)

対象者：身体表現に関心のある人、アーティスト、教員、福祉施設スタッフ、学生 など

定員：10名



ファシリテータ

砂連尾 理 (振付家・ダンサー)

1991年寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を中心に、障害者や高齢者、避難所生活者などのプロジェクトも手がけ、アートと社会を繋ぐ新たな活動を展開している。著書に「老人ホームで生まれたくつつダンス>ダンスのような、介護のようなー」(晶文社)。

石巻地域若者サポートステーション

仕事に就くことへの不安がある、人と話すのが苦手であるなどの理由で社会への第一歩を踏み出せないでいる若者や、家族が相談できる就職支援機関です。



ケアする人のためのワークショップ

○演じることを通して、見つめてみよう

障害のある人に関わるスタッフ自身が自意識から自らを解放し、演劇の手法で直面した問題について複眼的な思考を体験します。グループワークを通して新たな自分を発見してください。職場で応用できる演劇ワークショップです。

日時：2018年3月3日(土) 13:30～16:30
会場：せんだい演劇工房10-BOX box-3(仙台市若林区卸町2-12-9)

対象者：福祉、医療、介護などのケアスタッフ、ご家族のケアをしている人、教員、学生 など

定員：20名



ファシリテータ

吉川由美 (プロデューサー、演出家)

えずこホール(仙南芸術文化センター)でのコミュニティプログラム醸成に携わり、仙台市卸町、南三陸町、八戸など東北各地でアートプロジェクトを展開。八戸ポータルミュージアムはっち文化創造アドバイザー。

障害のある人の表現活動と著作権

○アートと著作権 基本編

ある人が絵を描きました。その作品はだれのもの?作品を展示したい。だれがどのように決めるの?作品を販売したい。だれがどのように決めるの?表現活動とともに生まれる権利「著作権」。障害のある人も、家族も、支援者も、活動パートナーも、どなたでも参加できます。

日時：2018年2月22日(木) 14:00～17:00
会場：みやぎNPOプラザ研修室1(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

対象者：障害のある人、家族、福祉施設スタッフ など

定員：20名

ファシリテータ

上林 佑 弁護士

平成17年10月弁護士登録(仙台弁護士会)。三島法律事務所所属。日本知的財産仲裁センター本部運営委員。同センター東北支所運営委員会委員長。知財総合支援窓口における窓口知財専門家。平成28年度より、SOUP(障害者芸術活動支援センター@宮城)協力委員。

○舞台芸術と著作権を考える

演劇やダンスなど身体表現から作品を生み出して、発表する時、戯曲・台本、演出、振付、演技、ダンス、音楽、舞台美術、照明など、さまざまな人が関わって、クリエイティブな要素が加わっていきます。その時どんな著作権が発生しているのでしょうか。いろいろな事例を元に考えてみましょう。

※事前にアートと著作権基本編にご参加いただくことをお勧めします。

日時：2018年3月16日(金) 14:00～17:00
会場：せんだい演劇工房10-BOX box-3(仙台市若林区卸町2-12-9)

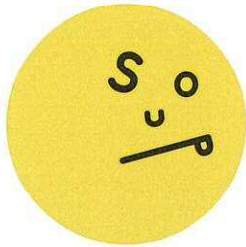
対象者：舞台芸術に関わる人、アートと著作権基本編の参加者 など

定員：20名

ファシリテータ

辻 哲哉 弁護士

Field-R法律事務所(東京)。特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン理事。「人権の視点から考える『障害者アートと著作権』(障害者芸術著作権等整備委員会編・2000年・日本障害者芸術文化協会)の編著に参加。障害のある人のアートを仕事につなげるエイブルアート・カンパニーの著作権の実務を支援している。



SOUP・スープ(障害者芸術活動支援センター@宮城)

特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパンは、平成26年から「まぜると世界が変わる」をコンセプトにSOUP(障害者芸術活動支援センター@宮城)の活動を実施してきました。

障害(バリア)から価値(バリュー)へ。障害、性別、世代、地域…、ちがいを受け入れられる文化のある社会こそが、本当に豊かなまち。その突破口のひとつとして、障害のある人たちの芸術文化活動を新しい視点から支援していきます。



2016年 表現するところ・からだを育てる ダンスと音楽編@仙台より



2016年 表現するところ・からだを育てる カメラ編@仙台より



2016年 SOUP2016実践報告会より

【お問い合わせ・お申込み先】

特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局(武田)

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地 みやぎNPOプラザ内 No.16

Tel : 070-5328-4208 Fax : 022-774-1576 Email : soup@ableart.org

【お申込み方法】

参加ご希望の方は、参加申し込みフォームの必要事項をご記入いただき、郵送、FAX、メールにてお申込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。定員を超えてご希望に添えない場合のみ、ご連絡いたします。

※同伴者の有無と、サポートの必要がある場合はその内容をあらかじめ事務局までお知らせください。

※お預かりした個人情報は、各研修の受付事務においてのみ使用させていただきます。

※開催日の1週間前までにお申し込み下さい。

【お申込みフォーム】 参加希望する□にチェックをお願いします

みんなでつくろう!!

☐ 2017年12月16日(土) 舞台美術をつくろう① ☐ 2018年1月27日(土) 舞台美術をつくろう②

身体表現ファシリテータ養成ワークショップ/体験&ディスカッション編

☐ 2018年3月5日(月)、3月6日(火) こころの動きをつかまえる・身体の可能性をみつけるじかん ☐ 2018年3月12日(月) からだをじっくり味わってみる

ケアする人のためのワークショップ

☐ 2018年3月3日(土) 演じることを通して、見つめてみよう

障害のある人の表現活動と著作権

☐ 2018年 2月22日(木) アートと著作権 基本編 ☐ 2018年 3月16日(金) 舞台芸術と著作権を考える

お名前 (ふりがな)

所属・活動内容

ご住所 (自宅以外の場合は、団体名までお書きください)

連絡先TEL

連絡先FAX

連絡先メールアドレス